

事務事業名		園芸産地育成事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	振興係
	施策	01	競争力のある産地体制の構築	内線電話	253
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	未計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	3目	農業振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	農業者	意図（どのような状態にしたいのか）	需要に応える園芸産地の育成を目指す。
現状・課題	新品種・新技術等を取り入れた先駆的産地づくり、収益力が高い産地づくりに対し支援しているが、高齢化による担い手不足が深刻化している。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市園芸特産振興事業補助金交付要綱、中野市農業生産等新技術確立事業補助金交付要綱		
事務事業概要	実需者の要望に応えた収益力が高い新品目・新品種、新技術、新作型等の導入に対し補助金の交付を行う。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	園芸産地育成事業補助金の交付		22件	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	25,732,000	20,331,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	25,732,000	20,331,000	18,372,000	
決算（見込）額 A			円	14,366,650	20,331,000	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円	5,648,000	9,690,000	7,891,000
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	8,718,650	10,641,000	10,481,000
正規職員数			人	0.46	0.41	0.46
人件費 B			円	2,959,640	2,641,220	2,963,320
総事業費 A+B			円	17,326,290	22,972,220	21,335,320
市民1人当たりコスト			円	405	540	503

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
園芸産地の育成が図られた件数		維持	目標	19	23	19		
			成果	17	18	—		
			目標					
			成果			—		
成果指標と目標値を設定した理由	事業規模がわかるように補助件数を成果指標とし、関係団体の要望を踏まえて目標値を設定する。							

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	継続実施により更なる競争力のある産地体制の構築を目指す。						

